



虹の森通信

本来の森を取り戻すために！子どもの環境教育、植樹、生物多様性の保護...

2017年12月/第7号

活動趣旨：

NPO法人子どもがかける虹の森ネットワークは、国、人種、政党、宗教を超えて、地球上のすべての生き物が調和して生きられる自然豊かな地球の再生に貢献し、20年後の地球に住む子どもたちが再び自然と共生しながら、心身共に健康で豊かに暮らせる自然循環型社会を実現することを目指しています。

理事長からのご挨拶：

師走の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年9月に理事長に就任いたしましたから、家崎みな子副理事長と二人三脚でNPO法人の日本での活動を開始するための準備を始めました。今年2月に5か年事業計画書を作成し、3月に親子オーガニック味噌作り、11月に親子ドングリ学習会を行うことができました。これもひとえに、会員の皆様のお暖かなご支援のおかげです。

しかしながら、4月から私が体調不良のためしばらく静養しておりましたため、5月から8月に予定しておりました中川ふれあいフェスタの参加、中川ケアプラザでの小学生向けのワークショップなどを中止することになりましたことをご詫言申し上げます。活動を広げていくためにも、お手伝いをさせていただくスタッフが必要だと実感しております。会員の方にもワークショップなどに参加していただき、ご協力をお願いできれば幸いです。

NPOの活動を周知させるために、春にはフェスブックを作り、また、11月よりウェブサイトの作成準備を始めました。

2018年は、親子味噌作り、ドングリ学習会の他に、海外の子どもたちとの交流、会員同士の交流の場として活動報告と親睦会などを予定しております。今後も皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

時節柄、お体に気をつけて、どうぞよいお年をお迎えください。

理事長 青木千里

活動報告(2016年9月～2017年11月)

《NPO法人の主な活動》

★ バイリンガルシリーズ1:親子オーガニック味噌作りワークショップ (2017年3月18日)

3月18日(土曜日)にあざみ野アートフォーラムで、講師に倉上厚子さん、鈴木智子さんを迎え、有機材料を使った手作り味噌

作りを行いました(写真右)。初めての試みでしたが、すずらんクラブ(学童保育)の小学生5人と付添いの先生2人、1歳児のお子さん



を連れた若いご夫婦が参加してくださいました。ボランティアスタッフに手伝っていただいて英語であいさつをしたり、歌を歌ったり、また、味噌作りを英語でも説明したところ、子どもたちは最初とまどっていましたが、途中からは英語を楽しんでいました。大きなビニール袋に茹でた大豆を入れて足で踏んでつぶしたり、肉挽き器やポテトマ

ッシャーでつぶしたりした後、有機麹と塩を入れて混ぜて、味噌作りを楽しんでいました。また、有機味噌の材料がど



こから来るのか、自然環境を汚染しない有機農業の大切さや、森と農業の関係などを、紙芝居形式で学びました。さらに、講師が持ってきた殻付き大豆の殻をむくのには夢中になりました(写真上)。最後に昨年作った味噌を賞味したり、豆乳から豆腐を作って食べたりと盛りだくさんのワークショップになりました。来年も3月4日に横浜で行う予定ですので、会員のみなさんもぜひご参加ください。

★ ペルーの学校に日本の木のおもちゃ、学用品などを寄付 (2017年3月27, 28日)

会員の河野善四郎さん(写真右)が、ペルーのNGOエコアのティノさんの協力で、クスコ



の山間にある学校 Collegio Daniel Entrada Pelez を訪問し、当NPO法人を代表して、日本の木製のおもちゃ(けん玉、コマなど)や万華鏡、学用品などの寄付品を届けてくださいました。河野さんは生徒たちにおもちゃの使い方を実演し、生徒たちも現地で遊びなどを披露してくれました。ペルーの子どもが手紙を書いてくれたので、今後日本の子どもたちと文通する機会を作っていきます。



また、フィロウ村とパタカンチャ村で、女性たちがインカ時代の方法で織っている(写真右)、手織りの織物や小物をたくさん仕入れてきていただきました。今後、日本での販売ルートを見つけて、現地の人たちの収入につなげていきたいと考えています。河野さん、どうもありがとうございました。

★ 環境学習会「ドングリっておもしろい！」 (2017年11月23日)

国際生態学センター主催、当NPO法人と理事長の住む「フォレストパーク四季彩の丘」というマンションの自治会が協力して、親子対象の環境学習会を横浜市都筑区で行いました。大塚・歳勝土遺跡公園でドングリを拾いながら学習会を行う予定でしたが、当日の朝はあいにくの雨天のため、急きょマンションの大集会室に場所を変更して行いました(写真上)。



雨にもかかわらず34人の子どもとその保護者合

せて58人が参加してくださり、また、当NPO法人、マンションのなかなかサロンと自治会役員のボランティアの方々もお手伝いください(写真最下部)、3世代にわたる76名が学習会を楽しみました。

国際生態学センターの矢ヶ崎朋樹博士のご指導のもと、クイズ形式でどんぐりのことを学んだあと、昔ながらのドング



りで作ったヤジロベ、コマ、けん玉やドングリボーリングで遊び(写真右上)、工作をして、皆さん満面の笑顔で楽しんでいました。お昼近くには雨が上がったので、野外に出て、みんなでポットに土を詰めてドングリを植え(写真右下)、各自持って帰って自宅で育てています。最後に子どもたちはドングリシール



がついたかわいい賞状をもらってとても嬉しそうでした。既成のおもちゃがあふれる中、ボランティアの皆さんが作ってくださった素朴なドングりのおもちゃで夢中にな

って遊んでいる子どもたちの姿が印象的でした。この学習会は地域の3世代の絆を結ぶよい機会になりましたので、ぜひ続けていきたいと思ひます。

今後3年間、子どもたちのドングリ育てのフォローをして、オリンピックの年に植樹をする予定です。植樹をする場所に心当たりがある方はお知らせいただければ幸いです。



《その他の活動》

★ 千葉県匝瑳市市民団体によるソーラーシェアリングの見学（2016年9月）

PARC自由学校主催の匝瑳市ツアーに理事長が参加し、ソーラーシェアリングの見学をしました。耕作放棄地を利用して、小さなソーラーパネルで太陽光発電を行い、その下で有機農業を行う事業(写真右)は、自然を破壊することなく売電もでき、画期的な試みでした。日本だけでなく、ペルーやガーナにも応用する可能性を考えていきたいと思えます。ソーラーシェアリングに興味のある方は、長島彬著「日本を変える、世界をかえる！ソーラーシェアリングのすすめ」(リック 2015年)が事務局にありますのでご連絡ください。



★ 神奈川ボランティアエースプログラムに参加:中長期事業計画作成(2016年10月-2017年2月)

上記プログラムに理事長が参加して、多摩大学の松本祐一教授のご指導の下、他の9組の団体とグループワークをしながら、NPO法人の5か年事業計画を立てました。課題がたくさん出て、かなりハードな作業でしたが、副理事長と2名のボランティアと協働して(写真上)、2月中旬には5か年事業計画書を完成しました。毎年見直しをしながら、今後の事業を進めていきたいと思えます。計画書をご覧になりたい方は、事務局までご連絡ください。



★ 「筑波山で体験する！森育ワークショップ」に参加(2017年2月26日)

横浜国立大学名誉教授の宮脇昭先生の植樹法(宮脇方式)で植樹を行っているNPO法人地球の緑を育てる会主催の筑波山神社での植樹祭に理事長

と副理事長が参加し、宮脇方式の植樹法の実地体験し、学んできました。植樹祭には100人以上の国内外の参加者が集まり、10種類800本の苗木を熱心に植えました(写真右)。午後は東京芸大の先生の指導による木彫り体験ワークショップが催され、木を植えるだけでなく、利用することによって木の価値を知るという主旨は、当NPO法人の指針と共通するものがありました。この学びを今後の活動に活かしていきたいと思えます。



★ 森のおもちゃ美術館(新宿御苑)見学(2017年5月20日)

新宿御苑で行われた森のおもちゃ美術館で、木で作ったおもちゃや楽器、ジャングルジムなどの展示を理事長、副理事長が見学し、出店者と交流して、今後のNPO活動のアイデアを探りました。木製のおもちゃは温かみがあり、触れるといのちを感じられるので、子どもたちの五感を育て、自然と触れ合うきっかけを作る教育にはぴったりです。今後の環境教育活動に木のおもちゃで遊ぶワークショップなども計画する予定です。



★ 第9回ふるさとの森づくり専門家研修に参加(2017年6月23日~25日)

NPO法人国際ふるさとの森づくり協会(レナフォ)主催の専門家研修に理事長、副理事長が参加し、横浜市開講記念会館などでふるさとの森づくりの哲学、災害と森の働きなど9つの講座と試験を受け、横須賀市湘南国際村のめぐりの森・連携の森でフィールドワーク研修と宮脇方式による植樹法の実習を終え、無事、植生工学士の資格をいただきました。理論と共

に、植樹祭に参加するだけではわからない準備作業を一通り体験できたので、今後、当NPOが子どもたちと植樹活動を行うにあたり、とても大切な知識と経験を得ることができました。また、他のNPOや植生工学士との交流を通して、今後、同じ志を持つ他団体と協働して活動が行える礎ができました。植生工学士研修に興味がある方は事務局にご連絡ください。



★ 高尾小仏の森植樹祭準備(2017年10月27日)

国際ふるさとの森づくり協会主催による高尾小仏の森植樹祭の準備に植生工学士として理事長、副理事長が参加しました。6月の研修で学んだことを実地研修できるよい機会でした。稲わらの紐を輪にしてまとめ、30数種類の苗木を10か所の植樹地に仕分けする作業(写真上)でしたが、先輩の植生工学士の方々がとても効率よく作業されていたので、多くのことを学ばせていただきました。青空の下、空気がきれいな高尾山で、同じ志を持った方々と協働することがとても楽しかったです。次回は会員のみなさんにも植樹を体験していただけるようご案内いたします。



新会員のお知らせ:

2017年2月に大久保哲士さん(千葉県流山市)、後藤潤さん(横浜市)、森田耕一さん(東京都)、11月に木崎康子さん(横浜市)、北尾桂子さん(川崎市)、小川裕子さん(横浜市)、12月に村瀬桂子さん(金沢市)が入会してくださいました。ありがとうございます。自然を愛する心優

しい方々です。

森田さんが5000円の寄付をしてくださいました。

フェイスブックとウェブサイト:

今年3月に子どもがかける虹の森ネットワークのフェイスブックを作りました。

<https://m.facebook.com/CRFNJapan/>

また、現在、ウェブサイトを作成中です。完成しましたら、あらためてご報告します。フェイスブックなどを管理して下さるボランティアの方を探しています。できる方はご連絡ください。

平成29年度の今後の活動

- ★ 2月12日(月、祝)15時~18時(予定)、横浜市都筑区の中川ケアプラザで、今年度の活動報告会(会員の河野さんによるペルー訪問報告や、味噌作り、ドングリ学習会の報告など)と会員の親睦会を行います。奮ってご参加ください。
- ★ 3月4日(日)12時~15時(予定)、中川ケアプラザで親子オーガニック味噌作りを行います。会員の皆様もぜひご参加ください。午前中は豆の仕込みなどをしますので、お手伝いをして下さる方を募集しています。事務局までご連絡ください。
- ★ 上記活動の詳細は追ってお知らせします。

おわりに:

今年は日本での子どもたちの活動を開始することができ、画期的な年となりました。これらの活動を国内で続けると共に、ペルー、インド、ガーナなどの子どもたちの活動とインターネットや手紙を通してつなげ、各国の子どもたちとの絆を築いていきたいと思ひます。一人一人が自然への思いやりの気持ちを育み、国際交流を通して協働して地球の未来を守っていけるような子どもたちが育ってくれることを願ひます。今後とも皆様のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

2018年が皆様にとって素敵な一年になりますようにお祈り申し上げます。

